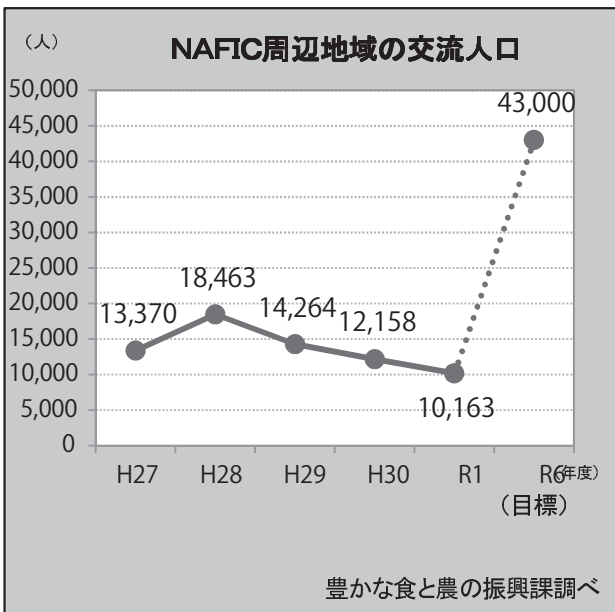


Ⅶ 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

坊	22. 農業・農地・農村・食と農の振興	
テーマ	(124) 中央卸売市場の再整備	
CC(チーフコーディネーター)	(124)中央卸売市場再整備推進室長 前田 美保	
目指す姿	令和10年度までに地域に開かれた賑わいのある中央卸売市場を整備します。	進捗状況 「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」(令和元年9月)を策定しました。また、市場エリア(B to B)の施設規模に関する市場事業者との協議を実施しました。さらに、市場を核としたまちづくりの検討を実施しました。

坊	22. 農業・農地・農村・食と農の振興	CC(チーフコーディネーター)
テーマ	(125) NAFIC教育の充実と周辺の整備	(125)
目指す姿	令和6年度までにNAFIC周辺地域の交流人口を43,000人にします。	食と農の振興部次長 原 実



指標	NAFIC ^(注) 周辺地域の交流人口(人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	13,370	↘	10,163	▲10.8%	43,000
進捗状況	H27(2015)	3,207人	R1(2019)	4/9 年目	R6(2024)
	現在のNAFIC周辺地域の交流人口は、主にNAFICの附属施設である「オーベルジュ・ぷれざんす桜井」の集客によるものですが、オープン当初は、知名度UPを目指し、食事の提供価格を通常よりも低価格にしたり、増席する等の取組を実施したことで、想定以上の集客数となりました。しかし、NAFIC開校後は、本来の目的であるNAFICの実践実習に注力し、実習に支障の無い範囲での集客としていることや、近年、全国的に災害が多いこと等が影響し、交流人口は減少傾向にあります。				

(注)NAFIC…奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校

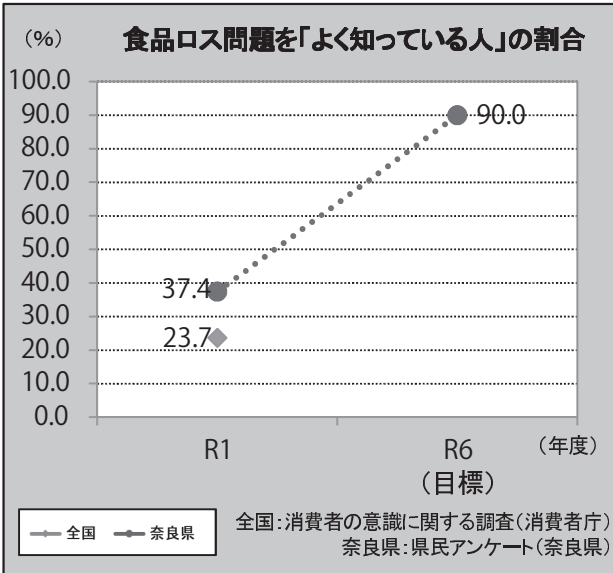
坊	22. 農業・農地・農村・食と農の振興	
テーマ	(126) 奈良県豊かな食と農の振興条例の制定	
CC(チーフコーディネーター)	(126)食と農の振興部次長 原 実	
目指す姿	令和2年度に食と農の一体的な振興を図る基本的な計画を策定し、具体的な施策を推進します。	進捗状況 「奈良県豊かな食と農の振興計画」の令和2年度策定に向け、内容の検討及び関係課との調整を行いました。

Ⅶ 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

坊	22. 農業・農地・農村・食と農の振興
テーマ	(127) 食品ロス削減への対応
目指す姿	令和6年度までに食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合を90%にします。

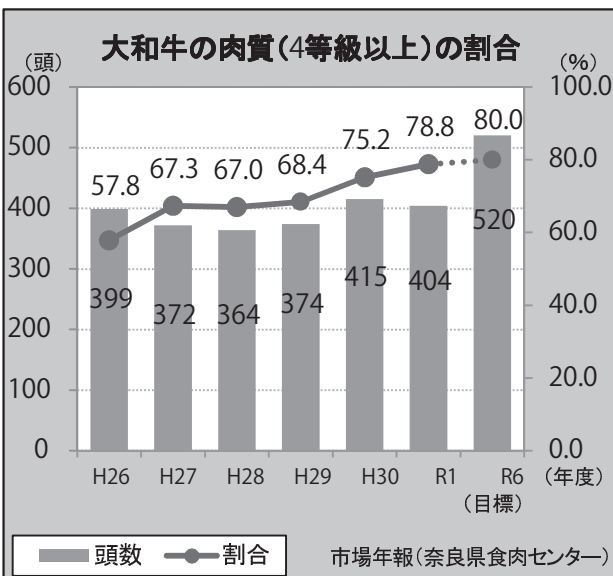
CC(チーフコーディネーター)
(127) 食と農の振興部次長 原 実



食品ロス問題を「よく知っている人」の割合(%)			
指標	基準値	目標値	90.0
	37.4		R6 (2024)
進捗状況	R1 (2019)	奈良県の食品ロス問題を「よく知っている人」の割合は、全国よりも高くなっていますが、目標達成に向けて、県民に向けた食品ロス問題啓発リーフレットの作成・配布や、一般消費者や食品事業者等を対象とした「奈良県食品ロス削減推進フォーラム」開催等により、食品ロス問題の周知を図りました。	

坊	23. 畜産・水産業振興
テーマ	(128) 食肉畜産業の振興・食肉公社の運営
目指す姿	令和6年度までに大和牛の肉質(4等級以上)の割合を80%以上にします。

CC(チーフコーディネーター)
(128) 食と農の振興部 畜産課長 溝杭 和己



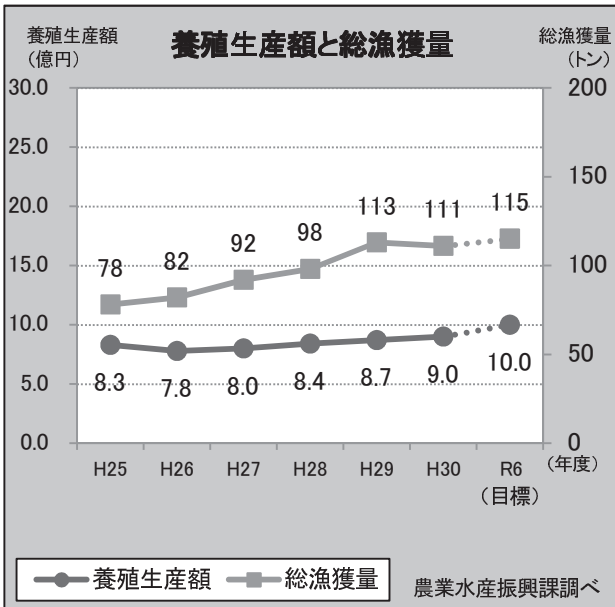
大和牛の肉質(4等級以上)の割合(%)				
指標	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	57.8	78.8	94.6%	80.0
進捗状況	H26 (2014)	21ポイント	R1 (2019)	5/10年目
	R6 (2024)			
優良子牛導入の支援や品質によるブランド認証制度等による農家の生産意欲の向上より、大和牛の品質は年々向上し、出荷頭数に計れる肉質が4等級以上の割合は、令和元年度には78.8%になりました。進捗率は94.6%と目標達成まであと少しとなっていますが、引き続き、目標達成に向けた取り組みを継続していきます。				

Ⅶ 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

坊	23. 畜産・水産業振興	
テーマ	(129) みつえ高原牧場の整備	
CC(チーフコーディネーター)	(129)畜産課長 溝杭 和己	
目指す姿	令和4年度にみつえ高原牧場の整備工事に着手します。	進捗状況 畜産団地の整備方針を決定しました。また、事業参入希望農家(3戸)の意向確認しています。

坊	23. 畜産・水産業振興	CC(チーフコーディネーター)
テーマ	(130) 内水産業の振興	(130) 食と農の振興部 農業水産振興課長 田中 良宏
目指す姿	令和6年度までに金魚やアマゴ等の養殖生産額を10億円にします。また、令和6年度までにアユやアマゴ等の総漁獲量を115トンにします。	



指標	金魚やアマゴ等の養殖生産額(億円) アユやアマゴ等の総漁獲量(トン)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	養殖生産額	8.3 H25 (2013)	↑ 9.0 H30 (2018)	41.2% 5/11 年目	10 R6 (2024)
	総漁獲量	78 H25 (2013)	↑ 111 H30 (2018)	89.2% 5/11 年目	115 R6 (2024)
進捗状況	養殖業の担い手育成のため、大学生を対象に金魚及びアマゴの養殖体験を実施しました。また養殖生産及び漁獲の安定を図るため、外来生物による食害の対策方法を養殖業者及び関係漁協へ普及・啓発しました。それにより近年、養殖生産額、総漁獲量ともに増加傾向です。				

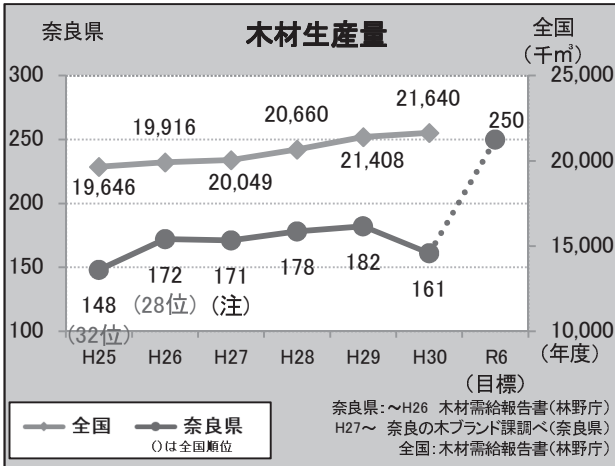
坊	24. 森林環境管理・林業振興	
テーマ	(131) 新たな森林環境管理制度の構築	
	(132) 森林防災体制の充実	
	(133) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの設置	
CC(チーフコーディネーター)	(131)、(133)森と人の共生推進室長 松田 繁樹 (132)森林整備課長 内田 亨	
目指す姿	令和6年度までに奈良県フォレスターアカデミー等で学んだ奈良県フォレスターを10名市町村に配置します。	進捗状況 「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」が令和2年4月1日より施行されました。今後は、奈良県フォレスターアカデミー等で学んだ奈良県フォレスターを市町村へ配置していきます。

Ⅶ 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

坊	24. 森林環境管理・林業振興
テーマ	(134) 奈良の木ブランド戦略
目指す姿	令和6年度までに木材生産量を25万m ³ にします。

CC(チーフコーディネーター)
(134) 水循環・森林・景観環境部 奈良の木ブランド課長 三浦 康生



(注)H27年度からは、県独自調査の数値を記載しているため、全国順位は記載していません

指標	木材生産量(千m ³)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	148	↗	161	12.7%	250
進捗状況	H25 (2013)	13 千m ³	H30 (2018)	5/11 年目	R6 (2024)
	平成27年度に奈良県林業・木材産業振興プランを策定し、A・B・C材全てを切り出す林業への転換を図る施策を推進したため、近年の木材生産量は増加傾向が続いていました。しかし、B材・C材の生産量は堅調に推移するなか、A材の生産量が伸びていないことから、平成30年度は前年度に比べ21千m ³ 減少し、進捗率は12.7%と伸び悩んでいます。				

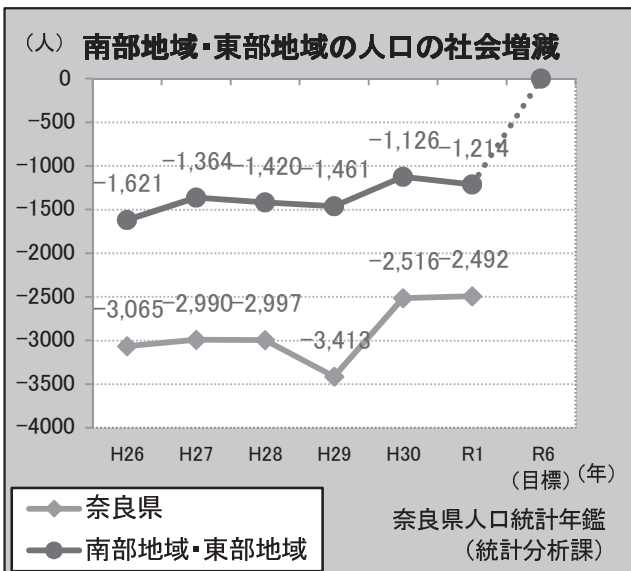
坊	24. 森林環境管理・林業振興
テーマ	(135) 奈良県産材の安定供給及び利用の促進
CC(チーフコーディネーター)	(135)奈良の木ブランド課長 三浦 康生
目指す姿	令和2年度に奈良県産材の安定供給と利用促進プランを策定し、具体的な施策を推進します。
進捗状況	「奈良県産材の安定供給および利用の促進に関する条例」が令和2年4月1日より施行されました。今後は、本条例の施策を実現するためにアクションプランを策定し、円滑かつ効率的な施策の遂行を図ります。

Ⅷ 誇らしい「都」をつくる

～交流、定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にする～

坊	25. 南部・東部の振興
テーマ	(136) 南部・東部の振興
目指す姿	令和6年までに南部地域・東部地域の人口の社会増減を均衡させます。

CC(チーフコーディネーター)
(136) 南部東部振興監 前阪 祥弘



指標	南部地域・東部地域の人口の社会増減(人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	▲ 1,621	↗	▲ 1,214	25.1%	0
進捗状況	H26 (2014)	407 人	R1 (2019)	5/10 年目	R6 (2024)
	令和元年は、奥大和移住・定住連携協議会による移住相談ワンストップ窓口担当者研修会の実施や移住促進施設整備事業による市町村への支援等、二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備や移住者の働く場の確保に取り組んだことにより、南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,214人の減となり、基準値である平成26年の1,621人減から407人改善しました。また、進捗率は25.1%となっています。				